

700号にあたって

1. 「信念」= Σ(経験)

右掲は、2007年3月1日に「AMIマンスリー」として創刊した物です。その後、2号から「AMIニュース」と名前を変えて継続しています。それから13年3ヵ月余りで700号に到達しました。当時は、創業時に始めた「AMIコンサルティング Fresh&Hot 情報通信」というFax 機関誌を隔週で発行しており、Fax 通信が2016年3月に504号で終了するまで並行して情報発信して来ました。「止める時は倒産」という覚悟で自力で継続できるスタイルでやって来ました。

私は、サミュエル・ウルマンの「青春」という詩から

「若さ」=「信念」x「実績」x「希望」

「信念」= Σ(経験)

と公式化していますが、何事も積み重ねた経験から「信念」が強く形成され、その「信念」が実績を積み重ねることで「一生折れない信念」となり、この「信念」x「実績」がベースに「希望」、つまり、明日への展望が開ける事によって期待感が湧き「若さ」となって輝くと考えています。

例えば、この「AMI ニュース」を毎週発行して13年以上継続するには皆さまへ伝えようとするネタを探す必要があるのですが、既に700回にもなると書くネタは底をついています。毎週、情報に敏感になって、これ！とヒラメキものを書くようにしています。また、各号に参照記事として、このA4版で2頁の記事をリンクしています。この記事で社内勉強会を行っている会社もありますので気の抜けないのです。質の悪い記事だとお客さんから厳しいレスポンスが返ってくるので真剣に書いています。

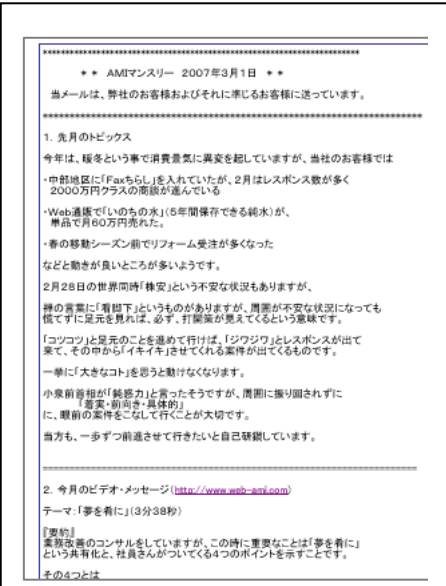
2. 700号は通過点

来月(7月3日)、弊社は創業25周年を迎えます。また、個人的には、7月11日に満71才になります。多くの方は、現役をリタイアされてゆったりと暮らしておられるのですが、亡き妻が「あなたは前世が悪いから、いつまでも働かねばならない」と言っていました、その通りになっています。私は、若い時から「自分」-「仕事」=「ゼロ」というタイプだったので苦に思わないで経営コンサルタントとして現役を続けています。

何事もお客様があって成り立つのですが、幸いにも私を頼りにして下さる若い経営者がいらっしゃるので「お役に立てるうち」と思い、それこそ常に「一期一会」の精神で精進しています。

このような背景がありますので、今の所「2025年事業承継」と決めて毎日を大切に頑張っています。従って、700号は単なる通過点であって、6年後、1000号に到達するのを楽しみにしています。この「楽しみ」にする事が大切と思うのです。前項で「希望」=「明日への期待」としているように「明日」の姿をイメージする事が大切なのです。2026年の1000号を目標として、まずは「元気」に日常生活を送る事が課題になります。私は、「運動」x「食事」⇒「元気」と考えていますので、加齢による筋肉の衰えを防止する為にウォーキングを行なっています。お陰様で「食事」は大変おいしく量的にも十分に頂けています。

また、加齢による変化への適応力が劣るようになりますが、お陰様で若い人たちと交流する事が出来ていますし、ITの変化にも三男が助けてくれるのでLINEやZOOMも活用できています。ある意味、活用という尺度なら、若い人と遜色がないと自負しています。「新しい生活様式」と言われますが、ICTを含めて適応できていると思います。何故なら、ICTは企画から始まるからです。「21世紀は企画の時代」という信念で「Faxちらし・3段活用マーケティング」の指導をして来た経験に裏打ちした「信念」、まさに、「信念」= Σ(経験)に基づいて「もう、700号ではなく、まだ、700号」という感じで「信念」を貫きたいです。



3. 変革のチャンス

中小企業家同友会理念の「いの一番」に「自主的近代化と強靱な財務体質づくり」を掲げていますが、何事にも通ずると思います。個人に当てはめてみると「自主的近代化」は「希望」(夢)に相当し、「強靱な財務体質づくり」は「貯蓄」というより「健康」に相当すると思います。つまり、何か新しい希望(夢)を抱くことによってチャレンジすることが始まるのです。チャレンジには道具や投資が必要なので財務体質が課題になるのです。しかし、最近では、ネット環境があれば無料で楽しめる物が数多くあります。例えば、LINEやSkype、ZOOMなどは無料ですが、優れたコミュニケーション・ツールになっています。非接触の時代になり、電話よりもLINEのようなメールが好まれるようになり、電話や面談よりもSkypeやZOOMの時代が変わって来ているのです。時代から離れすぎないようにしたいと思います。

一方、「強靱な財務体質づくり」の「貯蓄」や「健康」の面では、まず、「貯蓄」は老後に備えて2000万円の貯蓄目標がありますが、私の場合、自宅も事務所も買い取り物件で維持費が駐車場を含めて月4万円ほどで済み、さらに、母が亡くなって相続した家をリフォーム中ですが社宅として貸し出す予定という財務状況です。従って、「貯蓄」は比較的重要な要素ではなく、「健康」の面に重点が移ります。今のところ、大動脈瘤が見つかり経過観測中で、原因となる肥満から来る高脂質体質と高血圧が課題です。高脂質体質は運動と食事改善するようにしており、一時期、94kgになっていたのが75kgになりBMI値が24.77と普通体重(25未満)に入るようになりました。これからも「運動」x「食事」⇒「健康」の信念で過ごしたいと思っています。

このように、満71才になりますが安定した状況ですが、残るは「変革」という課題です。残念な事に妻に先立たれていますので、一緒に旅行するというような「夢」はありません。この8年ほど続けてきた「一人カラオケ」は新型コロナ危機で営業禁止されていますので自宅でユーチューブで楽しむ程度です。「好きこそ物の上手なれ」なので徐々に「上手」の域に入っていると思います。レパートリーが増えているのでカラオケで2時間ぶっ通しで歌えますので、こんな面で趣味の世界を深めたいと思います。大きな変革ではないですが、ささやかな希望を持って頑張りたいと思います。

4. 記事の品質重視

この「AMIニュース」を振り返ると雑多な分野の記事を書いています。中には、経営コンサルタントとしてお客様に展開する前に事柄を普遍化して骨子を固める目的で記事にしている時もあります。実際に、この記事で勉強会をされているお客様もあります。しかし、お客様ネタを元にして記事を書くのは禁句にしています。これは、やはり守秘義務に抵触するのです。とは言うもののFaxやHPを事例として参照するケースもありますが、それらは良い例としてのご紹介なのでお客様もご了解して頂いています。

私は、「お客様の半歩前に行く」をモットーにしていますので、コンサルタントの方々がよく口にするカタカナ語を使わないようにしています。カタカナ語や英字3文字で表すことは経営に関する事なので、結局は、人が行うことなので本質は同じと考えて、自分の言葉に変えてご紹介しています。「自分の言葉」という事は自分で噛みしめている事であり、実践ができるものなのです。よく、Know-HowよりもDo-Howが大切と言いますが、知識として理解できても実際に展開しようとするとき意外に難しい場合が多いのです。「現実意識よりも広くて深い」と言いますが、「イケル！」と閃いても実際に着手すると思いがけない支障が出て手こずることが多いのです。従って、記事に書いているものは自社で出来るものを中心にしています。シンプルな物で着手するにも少額の投資で行える物を心がけています。

このような方針で記事を作成していますので、例えば、理論や先端技術などの情報を求める方にはご不満な面があります。しかしながら、「力相応」という視点で今後ともこの方針で情報発信に努めて、将来を展望して大きく1000号つまり2026年を目指して行きたいと思っています。毎号、記事ネタに困っていますが、お陰様でタナベ経営様の情報や新聞情報などからヒントを得る事が出来ています。この700号は単なる通過点として、さらに先を目指して行きたいと思っていますのでご支援ご鞭撻のほどをお願いします。

【AMIニュースのバックログは <http://www.web-ami.com/siryu.html> にあります！】